



新年あけまして
おめでと〜ございませす

理事長 早川 明

社会福祉法人つるかわ学園
つるかわ学園を支える会
☎195-0051
東京都町田市真光寺町
186番地
T E L (042) 735-2220
F A X (042) 736-6374
HP:tsurukawa-gakuen.com

中国武漢発生の新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界に蔓延しパンデミックとなり、多くの感染者、死亡者を出し世界の人々を悲しみと不安に落とし込んでいます。そして今、ウイルス感染防止のため、密集、密閉、密接の三密回避生活とマスク着用の資格好で、お正月を迎えています。

振り返ってみますと、昨年は卒業式中止、入学式中止、教育機関の一斉休校、アベノマスク、短い夏休み、特別定額給付金十万円、オンライン授業、外出自粛と在宅勤務、GOTOなどとやら目まぐるしく動き回りました。福祉施設では利用者の感染予防のための家族保護者の面会制限・禁止、諸行事の縮小・中止、利用の皆さん職員の行動制限などが実施されるなかで、何時自分も感染するか、クラスターが発生するかとピリピリしたなかで毎日を送ってきました。サービスの質の低下、またデイサービス、訪問介護の利用も感染予防の影響で減少しています。経済的打撃も大変大きく困窮者、自死者も増

加している状況のなかで、安倍政権の継承を謳う菅首相が政権の舵をとっています。

溢れるコロナウイルス感染症の報道資料のなかに、六十年前に刊行された海洋生物学者レイチェル・カーソンの「沈黙の春」が取り上げられていました。ご存知のように本書は多数の科学者等専門家の協力を得て著述され、自然環境を破壊し続けている人間への警告書と言われる古典的書物です。

地上に生命が誕生して以来、あらゆる生命たちは固有種の消滅にあいながらも、環境と押し合いへし合い生命の歴史を作り上げてきてきたなかで、人間は二十世に入り「私たちの住んでいる地球は自分たち人間だけのものではない」ということを置き忘れ、便利さを求め「人間ファースト」のもと自然を破壊、征服しようとしてきたと訴えています。レイチェルは「自然は逆襲する」の文章の中で、人間の横暴が蓄積していけば生命をコントロールしている地球（自然環境）側より人間の淘汰

が行われと記しています。新型コロナウイルス感染症は地球上で繁栄をむさぼり、他の生命を絶やし続ける人間に対する、怒れる自然界からの目には見えないナノメートルのウイルスの、強烈な反撃の一つでないかとふっと考えたいです。

長野県の特養「あずみの里」で利用者がおやつ用のドーナツを食べた後に死亡した事件で刑事責任を問われた看護師の無罪が確定しました。福祉施設での仕事は常に危険との隣り合わせなので、私も事件当初より裁判の行方を気に掛けていました。あずみの里と遺族の間では示談が成立していましたが、あずみの里の施設長は「ご家族との関係を築けなかったことに自責の念がある」と語っていたそうです。

八王子市の幼稚園で九月、四歳の男子が給食に出されたブドウを喉に詰まらせて亡くなりました。大きなブドウはこれまでも詰まらせて事故が起きており、給食で使うことを避ける食材です（出すときは四等分して出すように言われています）。栄養士、調理員、保育士さん達の目をすり抜けてしまったのです。園長は「かけがえの無い命が無くなり、本当に申しわけなく思っています。保護者や子供たちの気持ちに寄り添いながら対応していきます」と取材に応じていました。廣本前理事長は「私の子をつるかわ学園に委ねてよかったと思える人たちが少しでも多くなっていくよう」努力しなければならぬと常に語っていました。その言葉を忘れることなくこれからも歩いていきたいです。

宇宙探査機はやぶさ2号（平成二十

六年打ち上げ）は、長い宇宙の旅を終え、十二月六日地球に帰還し、月の軌道上から小惑星リュウグウのお土産を地上に投下します。その後、新しいミッションを与えられ直径三十m位の小惑星に向けて宇宙の旅を再び続けるそうです（十一月記述）。

なんと日本の宇宙分野の科学技術は素晴らしいことでしょうか。

日本はもちろん、世界の科学技術力を結集し、一刻も早く新型コロナウイルスのワクチンが出来ることを願ってやみません。

つるかわ学園生活棟

(感染症拡大防止個室化工事)

厚生労働省は、令和二年度当初予算案の国庫補助協議におきまして、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止する観点から、入所施設において、多床室の個室化改修に対する補助を行うこととなりました。

これを踏まえ、これまで施設の緊急時対応用の個室については、課題でもあったことから令和二年度障害者（児）施設整備費補助金申請を行い、八月三日補助金内示を受け、十一月九日工事が完了し引き渡しを受けました。

工事概要

- ①一階地域交流談話室の一部（和室部分）を可動間仕切りにより仕切り、個室空間を確保。
- ②二地域交流室の一部を仕切り、個室空間を確保。
- ③三階食堂前の男女トイレを壊し、個室とする。

各事業所より

新年あけましておめでとござい
ます。

「コロナ」で始まり「コロナ」で終
わった様な一年でしたが、皆様はい
かがお過ごしでしたか？

各事業所でも「我慢」と「新たな
日常」を模索した一年でした。

本年も、より充実した利用者支援
を目指して努力してまいりますの
で、よろしくお願いいたします。



つるかわ学園

コロナ禍でのつるかわ学園の
行事の様子

支援課長 鳴原 雅典

例年、つるかわ学園の十一月と十
二月は行事が目白押しの時期になり
ます。市のスポーツ大会に始まり、
ふれあいまつり、都のスポーツ大会
クリスマス会と慌ただしくも楽しく
過ごしているうちに気が付くと年末
を迎えるのが常でした。しかし、昨
年は感染症対策のため、いつものよ
うには行事ができず、安全に配慮し
た代替イベントを園内で行いました。

ボランティアや地域の方、家族
のいない行事は寂しいものでした
が、その分スタッフが協力してア
イデアを出し合い、新鮮で温かみ
のあるイベントを多く行うことが
出来ました。一部を紹介すると、
みんなが正解するクイズ大会をし
たり、もくもくてんでパンではな
く唐揚げとポテトを用意したり、
柿や紅葉で園内を秋らしく飾った
り、屋台風のランチを出したり、
仮装したスタッフがよさこいやフ
ラダンスを踊ったり、職員が一丸
となってイベントを盛り上げまし
た。利用者の皆さんは、初めての
ことも大いに興味をもって楽しま
れていました。また、密を避けて
少人数ずつのイベントにしたこと
で、いつもよりも一人一人に合わ
せた余暇の提供が出来たように思
います。

疫病との戦いが繰り返され、そのた
びに様々な莫大な犠牲を伴い、ワク
チンや特効薬が開発されてきまし
た。昨年一年を振り返っても、疫病
というものに翻弄され、まるで時代
劇の中にも迷い込んだような、そ
んな錯覚に襲われた一年でした。
グループホームドリームは、民間
のアパートを借りて、平成十八年に
指定旧法自活訓練事業を利用し、地
域移行計画を基に、計画的に移行を
進め、つるかわ学園利用者の最初の
共同生活介護事業として、平成二十
年に開設しました。あれから十二年
：その間、当初の利用者三名は天
国へと旅立たれました。変化は年々
顕著に現れ、ユニット間での移動や
グループホーム間での移動も行って
きました。障害の多様化、重度化、
高齢化が進むにつれ、住環境の見直
しや総合的な支援を見直し検討した
結果、地域生活を利用者皆様が、安
全・安心に、住みやすく暮らせるグ
ループホームを、東京都の補助を受
け、今年、秋頃完成を目指し、建設
することとなりました。本年もどう
ぞよろしくお願い致します。

ドリーム事業所

管理者 外川 珠枝

手を合わせ、沢山の切なる願いや
思いを込め、心からお祈りをされた
ことと思います。

人類が誕生した時からウィルスと

町田通勤寮

寮長 三階 広明

令和二年は「新型コロナウイルス」
感染拡大防止対応で、職員、利用者
ともにやり場のないストレスに悩ま
せられた一年でした。

特に三月に特別支援学校高等部

を卒業して入寮してきた利用者は、
「入社式」の延期・中止、「在宅勤務・
自宅待機」という初めての体験の
中で、社会人生活の「出鼻をくじ
かれる」スタートでした。説明は
したのですが、「会社に行かない〓
お休み」の感覚は、生活リズムの
乱れとなり、立て直すことに大き
なエネルギーが必要となった利用
者もいました。

行事等も中止や内容変更が続き、
利用者からは「楽しみがない！」と
の声も聞かれました。

会社の方針で、外出等の自粛を
指示された利用者もおり、息苦し
い日々を送っていた利用者にとつ
て、「息抜き」のできる機会が少な
くなってしまったことは、申し訳
なく思っています。これまで感
染者等が出ていないことについて
は利用者・職員の皆さんの努力に
感謝しています。

さて、この「新型コロナ」の収束
は当面見込めず、しばらくは、「新
たな日常」が求められる生活が続
きます。事業等の見直しも必要とな
ります。今年度の取り組みを振り
返り、新たな取り組みを行ってい
きたいと考えております。

また、支援の質(内容)についても、
様々な課題が浮き彫りになってきま
した。利用者ニーズに寄り添いな
がらも、関係機関等との連携を密にし、
「訓練施設(事業所)」としての求め
られる「機能・役割」をしっかりと
果していくよう努めていきたいと思
います。

地域生活援助センターフクシア

成瀬療事業所

コロナウィルス対策後のフクシア、利用者さんについて

支援員 込山 恵美

支援員として入社した込山恵美と申します。これからどうぞよろしくお願ひいたします。私が入社した九月は世話人さんを始め、センター職員の皆さんが様々なコロナウィルス対策をされ、社会的にも少し落ち着いてきていました。

新しい生活様式がほぼ浸透しているところしか見ておらず、入社直後はこれが当たり前のものとして目に映っていました。

二か月経ち、少し余裕ができた今、利用者さんにとってできるだけ負担が少なく受け入れやすい新しい生活様式を考え浸透させるのはとても苦労されたらうなあと思っています。現在も、寮では食事を受け取りに来る時間が個々に決まっています、各々の自室で夕食をとり、できるだけ密な関わりがないようにしています。

少しずつ緩和されていますが、皆さんが旅行やカラオケ等、遊びに行く時も未だ声高に「いつてらっしゃい」と言えない状況です。様々な趣味を持つ利用者さんに納得して頂くために、申し出時に個々に対応し、できるだけストレスのない生活を送れるように苦慮しています。

コロナ前は食堂に集まって世話人さんと共に食事をしていたと聞き、おしゃべりしながら食事をする毎日の団らんが過去のものになる前に戻ってきてほしいと思っています。しかし、完全に解除となった時、新しい生活様式を続けるのが、以前の生活に戻るのか、新たな対応が必要になるのだろうと思うと、良い習慣は忘れる前に再開できるといいなあと思う毎日です。

町田市障がい者就労・生活支援センター リンク

支援センター ソラール

管理者 藤本 英理子

リンクを含め、令和二年四月以降緊急事態宣言発令から始まり、就労支援の現場も新型コロナウイルスに大きく影響を受けました。飲食業に勤務している方や企業から「ソフトに入れない」「店舗が閉鎖されるので異動しなければならぬ」「契約を終了しなければならぬ」「雇用状況の悪化に伴い様々な相談がありました。企業の生き残りをかけて障害者雇用に関わらず「人員削減」等を行うしかない場面だったのだと思いますが、障がいのある方にとって苦手とされる「見通しがつかない」「変化が多い」という本当に過酷な状況となってしまいました。夏以降、徐々に感染者も減り、「通常通りのソフトが組めている」等明るい

ニュースも出てきたとほっとしたところで、年末は再度感染拡大と向き合うこととなりました。これ迄も感染防止対策として、余暇の過ごし方について制限のある企業もありましたが、感染拡大に伴い余暇の過ごし方に再度「制限」若しくは「継続して制限」する企業も増加してくるのではないかと思います。余暇の過ごし方が就労の継続に与える影響は大きく、長期に渡り様々な制約がかかっている状況の中で、感染防止対策と心身の健康をどのように保っていくのか、企業の方とも連携して考えていかなければならないと思います。就労先の開拓についてはより積極的に行っているところではあります。支援センターソラールも同様ではあります。景気の動向から就職活動の長期化も予測され、不安が強まる方も多いかと思えます。皆さんの心を支えられるよう、実際の就労及び就労の安定に向け、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈りつつ、職員一同精一杯支援に尽力して参ります。

相談支援センターころ

管理者 芹澤 政人

相談支援事業の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ご家族や各関係機関の皆様におかれましては、このコロナ禍にあつてのご苦労も多いかと拝察いたします。

全国的に感染者数が増えている中、昨年は社会情勢を見ながら支援の調整が求められた一年でした。相談支援の中でも、利用者の方からは、感染拡大防止の為に大好きなカラオケに行けないことからのストレスや感染症対策への戸惑い。親御さんからは、自分が感染したら子どもはどうしたらよいか等の不安からの相談も多くありました。今年も新しい生活様式を模索しながら、地域と連携した利用者の方々の「生活づくり」をしていきたいと考えております。

相談支援に携わる中で、利用者の方の生活をより良くする為にはどうすべきかと言った視点を感じる場面があります。大きな変化がないことで安定を生んでいる場合と、新たな挑戦等の大きな変化により課題の解決が図れる場合等。希望のある生活の実現のためには、本人の意思決定を大切にしたり取り組みが必要で。その希望ある生活を実現するための福祉サービスの介入を考えることが求められます。各関係機関の役割により、ひとり一人の希望を実現するために支援へ難しさに直面することもあります。その難しいことに相談支援事業が介入していく意義があると感じております。

利用者の方に係る様々な状況変化の中、本事業が求められる役割、本質を認識し、利用者の方一人ひとりに寄り添った支援を心掛けたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

ご寄贈の御礼

ダイエーユニオンの皆様
「ありがとう」

支援スタッフ 田村 知輝

二十年以上にわたり、毎年活動していただいているダイエーユニオンさんとのイベントにつきまして、今年も感染症対策により、やむを得ず中止となりました。

これまで、「梨狩りやバーベキュー」、「ごごもの国」への外出、ここ数年では利用者みなさんの高齢化に伴い、園内で楽しめるイベントを企画していただき、多くのダイエーユニオンスタッフが来園され、利用者とおふれあい、楽しい時間を過ごしてきました。

今回は、活動中止を踏まえ、いつもとは違った形での協力、提案をいただき、ゼリーとコーヒーを頂けることになりました。利用者の皆さんに提供した際には、とても美味しくついに食べていました。

このような繋がりを大切にさせていただき、次年度には、またいつものような関わりが出来たら良いかと願います。

「また、お待ちしております」



新型コロナウイルスの全国的な拡大が続く中、これまで複数の企業、団体、個人様より衛生用品等のご寄贈を頂いております。令和二年九月～十一月の間には左記の皆様にご支援を頂きました。

「ご寄贈頂きました品物は有効に活用させて頂きます。」

皆様方のご温情溢れるご支援、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

厚生労働省 様

つるかわ学園ご家族様 三件

東京善意銀行 様

南町田教会

生活協力サービス委員会 様

(令和二年十一月現在)



つるかわ学園を

支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこつとした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様のお小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。

どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいますようお願い申し上げます。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額三千円ですが、ひとり何口か入っていたら、ことを歓迎、お願いしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇一〇一七一一九四〇二九
加入者
社会福祉法人 つるかわ学園

**つるかわ学園
ホームページ**
日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます
アドレスはこちら!!
HP: tsurukawa-gakuen.com

